



杉谷 洋一 議員

魅力あるまちづくりは？

町長

豊かな財産を磨き上げ

【杉谷】今後、人口減により、さまざまな問題が生じ、国からの交付税も減少する。

将来を見すえた町の基盤の確立と安定した持続可能なまちづくりを行うためには、職員
の英知と大胆な施策が不可欠ではないか。

【町長】行政のさらなるスリム化をはかり、人材・産業・自然・歴史・文化などの豊かな財産を磨き上げる。

町民と行政と民間が力を合わせ「未来づくり10年プラン」を推進して、町民や若い職員の提言を取り入れ、本町の魅力を発信したい。

【杉谷】元気な高齢者対策は。

【町長】健康長寿施策や買い物・病院など自由に利用できるデマンドバスの運行を充実する。

若者定住対策は？

町長

子育て

支援体制の充実

【杉谷】子育て支援の整備は。

【町長】拠点保育所や子育て支援センターなどを整備する。また他市町村に先駆けて5歳児検診を実施している。

【杉谷】山陰道開通による企業誘致や雇用創出は。

【町長】県と連携して誘致促進をはかる。



元気いっぱいな若者

【杉谷】ベッドタウンとして大山に周辺に若者定住の住宅地整備を考えては。

【町長】民間力を生かした取り組みを研究したい。

【杉谷】出生数を増やすための「少子化対策プロジェクト」の立ち上げは。

【町長】「子育ての包括的支援体制の調査研究事業」を予定している。

子育て環境の整備は？

教育
委員長

安心して働ける 保育環境を

【杉谷】病児・病後児保育の充実は。

【教育委員長】保護者が安心して働ける保育環境として、専用保育室で健康状況を把握しながら対応する。

【杉谷】放課後児童クラブの対象学年を拡大しては。

【教育委員長】4年生までの児童を対象にしているが、国の方針が示されれば検討したい。



放課後遊びの様子